

菊池ふるさとかるた史跡めぐり

青少年育成推進員だより

菊池ふるさとかるた史跡めぐり

11月5日、昨年に続き今回で3回目のふるさとかるた史跡巡りを実施しました。市内小学校の1年生から5年生まで11人の参加があり、旭志・泗水・七城の12カ所の史跡を見学しました。菊池市文化振興係の高見さんの説明を熱心に聞き、かるたを全員で唱和。史跡巡りクイズも実施し、1年生が見事1位に輝きました。

各場所でも熱心にメモを取る児童がいたので、尋ねたところ「歴史が好きです。将来は社会の先



七城「西郷南洲先生祖先発祥の地」



泗水「いちいがし」
大きな木の根っこに子どもたちもびっくり！



旭志「乙姫神社」

生になりたい」と元氣よく答えられました。夢がかなうことを願いながら史跡巡りを終えました。折り返しから史跡巡りを終えま

問い合わせ先
菊池市教育委員会
生涯学習課内
☎0968(25)7234

菊池ふるさとかるた大会

菊池の名所や史跡を知ってもらおうと始まった菊池ふるさとかるた大会も、ことしで9回目を迎えました。市内全小学校から35チーム122人の参加があり、応援に来られた保護者も多く、盛大な大会となりました。

開会式を受け試合開始。子どもたちは練習の成果を発揮しようと思いを輝かせながら試合に臨んでいました。今回初めて、順位決定戦が行われるなど、試合は白熱したものとなりました。この日のためにチーム一丸となって練習してきた様子が目に浮かぶようでした。

同じ目標に向かって共に頑張る支えがあったことは、子どもたちにとって試合結果以上のものがあったと思います。有田征二



市内からたくさんの児童が参加



熱戦が繰り広げられました

九州青少年アドバイザー協議会

10月19日、熊本県青少年育成アドバイザー連絡協議会の山田大蔵会長が教育委員会を訪問し、「青少年の健全育成に役立てて欲しい」と菊池市青少年育成市民会議に5万円を寄付されました。原田教育長は「ありがとうございます。青少年の健全育成のために大切にに使わせていただきます」とお礼を述べました。



原田教育長に寄附金が手渡されました

第3回 菊池ふるさとかるた

は

花祭り
武士しのぶ
墨染桜



墨染桜(龍門・寺大野)

菊池14代武士公は、鳳儀山聖護寺大智禪師の教えにより21歳で出家。諸国を回り帰国して、寺小野大円寺の桜を見て、「袖ふれし花も昔を忘れずば我が墨染をあれとは見よ」と詠まれた。その後この桜は、武士の故事にちなんで墨染桜と呼ばれている。



ふるさとかるた史跡めぐり

No.37

スポーツ推進委員だより

エムビョイスポーツ

問い合わせ先
菊池市
スポーツ推進委員
協議会広報部
☎0968(25)7234

地区別研修会

12月10日に七城体育館で地区別研修会を開催。市スポーツ推進委員約30人が参加しました。

研修会は、地域スポーツ指導者の資質向上を目的に毎年実施しており、県内外からさまざまな分野で活躍されている専門家や指導者を講師に招き行っています。

今回は、スポーツ推進委員で県レクリエーション協会副会長の上野祥子さんを講師に迎え、人とのコミュニケーションの方法について、いろいろなジャンケンやゲームを使い表現共有する講習でした。ドタバタと走り回ったり、素早く行動したりと、想像以上に体力を使う内容でしたが、「コミュニケーションの（思いを伝える）大切さや難しさを学ぶことができました。」

実技研修はフラバールボールバレーの試合対戦となり、初めて体験する人たちが居て和気あいあいのプレーの中にも珍プレー好プレーが続出する少し本



フラバールボールバレー



コミュニケーションの実践練習

気モードの試合となりました。また、今回から人権勉強会も加えられ今までも増して有意義な研修会となりました。

九州地区研究大会

2月11日・12日に熊本県で、九州地区スポーツ推進委員研究大会が開催され、市スポーツ推進委員全員で参加しました。

今回は、県と九州の開催地が重なったため、熊本市のアクアドームくまもとで同日開催となりました。歓迎アトラクションは、おもてなし武将隊の勝どきで始まり、ゆるキャラひごまる君のダンスやくまモンとエアロビ選手大村詠一さんのコラボによる、くまモン体操で参加者を歓迎しました。生で見ただけのキャラのキレッキレのダンスに笑いと感動のあるオープニングでした。



九州各県から多くの推進委員が集いました



市スポーツ推進委員

初日は、日本サッカー協会会長の田嶋幸三氏が「夢があるから強くなる。常に世界をめざして」をテーマに講演。これまでの日本サッカーの取り組みの根底には、常に世界に挑戦するという夢を持ち、いろいろな指導や活動をしている事が分かりました。何事も成功を導くためには、夢を持つことが大切だと教えられました。

2日目は「国際スポーツ大会を契機とした地域の振興」についてパネルディスカッションがあり、とても充実した研修でした。平成29年度は、菊池市で県の研究大会が開催されます。スポーツ推進委員みなで知恵を出し合っ、特色のあるおもてなしで盛り上げようと思います。

スポーツ推進委員の役割

スポーツ推進委員（以下…推進委員）には、さまざまな役割があります。職務規則では、住民の求めに応じてスポーツの実技指導を行うことや、スポーツ活動を促進するため組織の育成を図ること、学校・公民館などの教育機関や行政機関が行うスポーツ行事などに関し、求めに応じ協力することなどが定められています。

平成30年度から小学校の部活動が社会体育に移行されることに伴い、各小学校では、推進委員や指導者を探しています。また、移行に向けた説明会や話し合いが行われ、さまざまな検討がなされています。部活動の社会体育移行は、子どもたちの運動能力低下や指導者不足などさまざまな課題を抱えており、推進委員の役割は、今後さらに高まると予想されます。

推進委員とは別に、ことしは地区の体育委員長を任せられました。何をしたらいいか、昨年同様の行事でいいのかと悩んでいます。これから住民と話し合い、推進委員の経験を生かしてニュースポーツを取り入れたりしながら、健康維持のために活動していきたいと思えます。

菊池市スポーツ推進委員協議会
会長 小林孝夫